

平成22年度 実績評価書（平成21年度の実績の評価）要旨

## 「若年者等に対して段階に応じた職業キャリア支援を講ずること」 について

平成22年8月

職業能力開発局実習併用職業訓練推進室(高森室長)[主担当]

職業能力開発局実習併用職業訓練推進室(高森室長) [小目標1 関連]

職業能力開発局キャリア形成支援室(伊藤室長) [小目標2 関連]

### 1. 政策体系上の位置付け

#### 【政策体系】

基本目標Ⅴ 労働者の職業能力の開発及び向上を図るとともに、その能力を十分に発揮できるような環境整備をすること

施策大目標2 働く者の職業生涯を通じた持続的な職業キャリア形成への支援をすること

施策中目標1 若年者等に対して段階に応じた職業キャリア支援を講ずること

### 2. 施策の概要

本施策は、次の施策小目標を柱に実施しています。また、本施策の実現のために投入している資源は次のとおりです。

#### （施策小目標）

（施策小目標1）正社員経験の少ない若者に職業能力形成機会を提供すること

（施策小目標2）若年者等の職業的自立支援を充実すること

#### （予算）

	H18	H19	H20	H21※評価対象年度	H22
予算額	9,049	10,248	10,345	13,380	11,825
（決算額）（百万円）	（7,152）	（7,349）	（8,344）	（12,426）	

一般会計	H18	H19	H20	H21※評価対象年度	H22
予算額	2,594	3,770	3,605	3,775	2,750
(決算額)(百万円)	(1,857)	(2,735)	(3,108)	(3,713)	
労働保険特別会計	H18	H19	H20	H21※評価対象年度	H22
予算額	6,455	6,478	6,740	9,605	9,075
(決算額)(百万円)	(5,295)	(4,614)	(5,236)	(8,713)	

### 3. 評価と今後の方向性

指標・目標値の動き等をもとに、本施策を評価し、今後の方向性をまとめました。

#### (指標・目標値)

指標と目標値(達成水準/達成時期)						
アウトカム指標		H17	H18	H19	H20	H21
1	委託訓練活用型デュアルシステム修了者における就職率(%) (70%以上/平成17~19年度) (75%以上/平成20年度) (65%以上/平成21年度)	71.9	75.2	76.9	72.5	70.5 (暫定値)
達成率		102.7%	107.4%	109.9%	96.7%	108.5%
【調査名・資料出所、備考等】						
・職業能力開発局調べ。訓練修了3ヶ月後の就職率。						

#### (指標の分析：有効性の評価)

- 指標1について、平成21年度における委託訓練活用型デュアルシステムの就職率は70.5%（暫定値）であり、目標達成率が108.5%と高水準となっています。
- 若年者等が就職の実現に必要な実践的な能力を習得するために本施策を実施することは、引き続き有効と考えられます。

#### (効率性の評価)

- 民間職業訓練機関における座学と企業実習を組み合わせた委託訓練活用型デュアルシステムは、民間活力を活用した訓練であり、実施方法として効率的であると評価できます。

(今後の方向性)

---

- 新成長戦略に掲げられた「若者フリーター124万人」という目標を実現するため、今後も取組を行ってまいります。

4. 評価結果の政策への反映の方向性

---

(1) 予算について

---

以下の□で囲んだ方向で検討します。

- ・廃止
- ・見直しの上（増額／現状維持／減額）
- ・見直しをせず、現状維持

(2) 税制改正要望について

---

特になし

(3) 機構・定員について

---

特になし

(4) 指標の見直しについて

---

特になし